クール目　day

ゲムシタビン・カルボプラチン療法を受けられる方へ

担当薬剤師

泌尿器　科　ID:　　様

【投与スケジュール】

	1 日目	2～7 日	8 日目	9～14 日	15 日目	16～21 日
ゲムシタビン	○		○			
カルボプラチン	○					

☆ 3 週間毎に繰り返し行います。

☆ 検査の結果で投与スケジュールや投与量が変更になる場合があります。

【点滴内容】

～1 日目～

生食　100mL
プロイメンド　150mg
↓ 30 分
アロキシバッグ　0.75mg
デキサート　3.3mg
↓ 30 分
生食　100mL
ゲムシタビン　mg
↓ 30 分
生食　250mL
カルボプラチン　mg
↓ 60 分
生食　50mL
↓ 全開

～8 日目～

生食　100mL
デキサート　6.6mg
↓ 30 分
生食　100mL
ゲムシタビン　mg
↓ 30 分
生食　50mL
↓ 全開

プロイメンド：吐き気を抑える薬です。
アロキシ：吐き気を抑える薬です。
デキサート：吐き気やアレルギー症状を抑える薬です。

ゲムシタビン
カルボプラチン
} ：がん細胞の増殖を抑える薬です。

【主な副作用と対策】

ｱﾅﾌｨﾗｷｼｰ様症状：お薬を投与することで、アレルギーに似た症状が発現することがあります。息がしにくい、胸が締め付けられる、といった症状がある場合にはすぐに知らせてください。

血管外漏出：針の刺入部の皮膚が赤くなる・腫れる・痛い・熱っぽい・かゆみが出るなどの症状が現れる場合があります。異常を感じたらすぐに知らせてください。

白血球減少：投与後 7～14 日頃に最も減少すると言われています。
白血球が少なくなると、病原菌に対する体の抵抗力が弱くなり、
風邪などの感染症を起こしやすくなりますので、うがい・手洗い・マスクといった感染予防を心がけましょう。

赤血球減少：血液の赤い成分が減少することで、めまいやふらつき、疲れやすくなるといった副作用が起こることがあります。十分な休息をとりましょう。

血小板減少：投与後 7～21 日頃に最も減少すると言われています。原因不明のあざ・鼻血・歯茎からの出血・頭痛などが起こることがあります。出血しやすくなりますので、怪我や転倒には注意してください。

食欲不振・悪心・嘔吐：投与後～7 日ほど現れることがあります。あらかじめ吐き気止めを投与していますが、他の薬もありますのでつらい時には申し出てください。また、食事はにおいの少ないもの・冷たいもの・食べられるものを少しずつ、食べられる分だけ摂取するようにしましょう。

脱毛：脱毛が起こることがあります(10%程度)。投与後 14～21 日経つと抜け始めます。
治療終了後 6 ヶ月ほどで生えそろってきます。

末梢神経障害：手足がしびれたり、痛みがでることがあります。ボタンがかけにくい・字が書きにくいといった症状が出てくるようでしたらお知らせください。

難聴・耳鳴り：高音域の声や音が聞こえにくかったり、耳鳴りがすることがあります。
悪化していくようでしたらお知らせください。

便秘：水分を摂取したり、お腹のマッサージをしましょう。下剤や便を軟らかくする薬も使います。

下痢：下痢をしている間は脱水にならないように水分を摂取しましょう。

味覚障害：食べ物の味が変わって感じることがあります。治療が終了すれば徐々に治ります。

口内炎：食後に歯磨きをするなど、口の中は清潔に保っておきましょう。

疲労感・全身倦怠感：全身がだるくなったり、力が抜けたような感じになることがあります。

眠気・傾眠：急に眠くなることがあります。車の運転など注意しましょう。

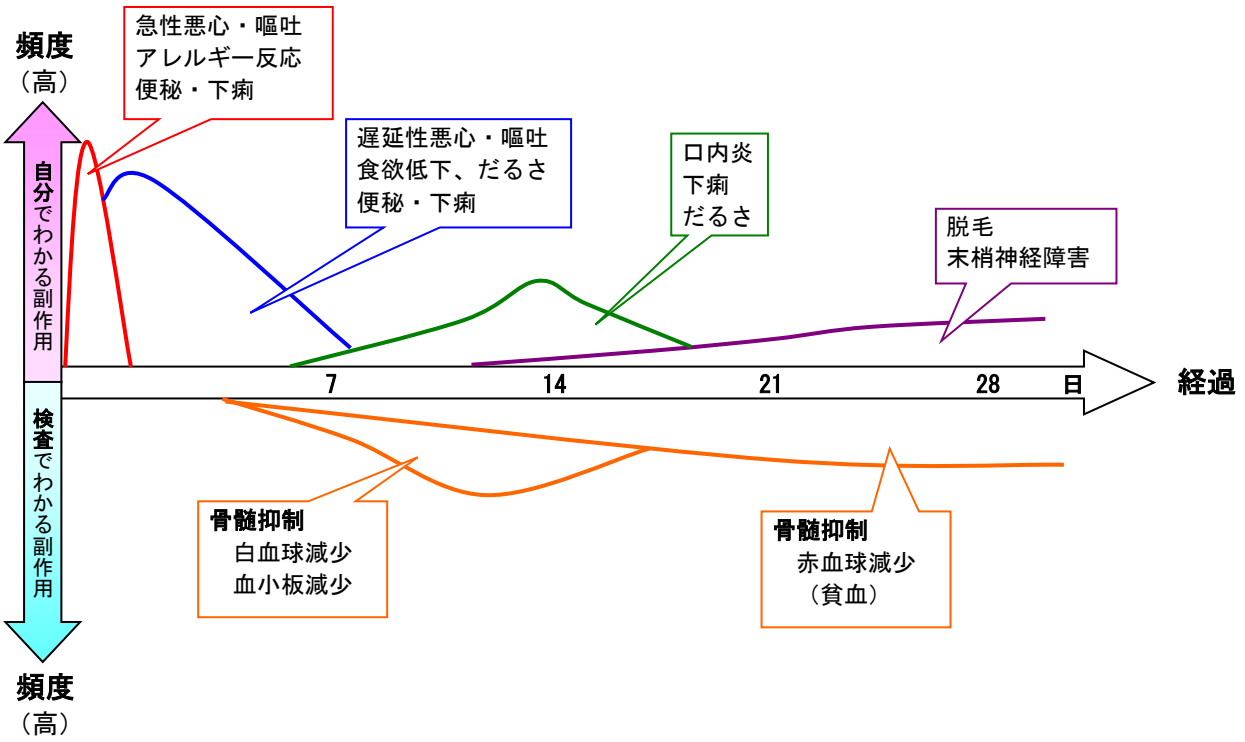
発疹：皮膚が赤くなったり、痒みが出ることがあります。ひどい場合には知らせてください。

腎・肝障害：お薬によって腎臓や肝臓に影響が出る場合があります。

心障害：薬の影響で心臓に負担がかかることがあります。

間質性肺炎：非常に稀ですが、薬の影響で肺炎が起こることがあります。
咳・発熱・息切れといった症状が続くようでしたらお知らせください。

主な副作用の発現時期と程度のイメージ



【日常生活で注意していただきたいこと】

① 抗がん薬は投与後しばらくの間、尿や便に残ります。抗がん薬投与後 2 日間(48 時間)は、トイレのふたを閉めて水を 2 回流しましょう。男性の方は尿の飛び散りを防ぐために座って排尿しましょう。

② ご家族が吐物や排泄物を処理する場合には必ず手袋をしましょう。
汚染したゴミはビニール袋に入れて口元をしっかり閉じてから廃棄してください。

副作用の全てが現れるわけではありません。
また、これら以外の副作用が現れる場合もあります。
気になる症状がありましたら必ず医師・薬剤師・看護師にご相談ください。
この説明書はかかりつけ医やかかりつけ薬局薬剤師にもお見せください。

お薬に関する相談先
北信総合病院　(代表)0269-22-2151
薬剤部　医薬品情報管理室　内線　2530